



支部長杯熱闘

日頃の上達ぶりを披露

この大会は将棋普及を目指す支部長の熱意から行われたもので、賞品等も盛りだくさん。参加者は支部会員に限らず道内愛棋家を集めて行われた。

平成22年11月28日(日曜)将棋サロン&カフェみずならにおいて、日本将棋連盟・札幌中央支部の**工藤学支部長**主催による将棋大会が行われ、30名近い参加者が熱い将棋を楽しんだ。

支部長杯将棋大会

みずなら

日本将棋連盟札幌中央支部(札幌市中央区北3西2NCビル2Fみずなら) 011-788-9215 FAX011-788-9215

- また、賞品総額5万円は皆さんで分け合いました。
- Aクラス 四段以上
- 優勝 **桜庭篤**
- Bクラス 三段以下
- 優勝 **川崎陽平**
- Cクラス 1級以下
- 優勝 **大坂勇一**

秋の将棋合宿

宿泊は、「虎杖浜温泉ホテルオーシャン」。大変楽しい研修会でした。バスの中で4時間楽しい会話でビールを飲み続けました。将棋をする時間が余りありませんでしたが、ただ、桜庭さんVS後藤さんの20番勝負は、見ごたえ合ったようです。朝5時まで対局してみたいです。翌日の佐々木治夫杯は、そのため散々な成績でした。後一つ星が足りなかった。佐々木治夫杯(苦小牧)には2チーム参加。 [文:みずなら席主・田中美旭]

秋の将棋宿泊研修旅行が、10月30日〜31日、虎杖浜で行われました。



支部長杯参加者



会報『みずなら』の編集長のブログ

札幌中央最強戦・釧路決選

- 11月7日
- 優勝: **松本幸大**
- 準優勝: **神成大輔**

将棋情報はみずならホームページをご覧ください。
<http://aqua-oak.com/>

みずならリーグ

- 10月結果
- 優勝: 最多勝・最多対局賞: **大野國博**
- 準優勝: **小林昭夫**
- 3位: **小畑彰政**
- その他入賞者: **佐々木方育・酒井史雄・山下弘人**

賞金大会

毎週金曜(優勝3千円) 試合方式スイス式4回戦 参加費500円(席料別) 遅れる方は、電話ください。

強豪現る



賞金獲得者

- 10月8日 浅井 隆宏
- 10月15日 武田 浩司
- 10月22日 箭子 涼太
- 10月29日 小畑 彰政
- 11月5日 箭子 涼太
- 11月12日 浅井 隆宏
- 11月19日 桜庭 篤 (8,000円)
- 11月26日 丸橋 博 (名士白屋市)
- 12月3日 浅井 隆宏 (各月1回、賞金3千円に5千円を上乗せします)

支部長杯(一面参照)

主な成績

A~Cの3グループごと
にスイス式4回戦。

^A^ 四段以上v^1位桜庭
篤・2位武田浩司・3位佐
藤文瑠・4位吉光秀人



わが子の対局を見守る
親と、対局に没頭
する少年。

^B^ 初段以上v^1位川崎
陽平・2位森田健春・3位
松田圭一・4位工藤学

【将棋サミット in 秋田】

前号でも紹介した通り、11月20日
に秋田市で行われた将棋サミットに
工藤学支部長が参加。
その際の米長邦雄会長の御講演の
模様を報告してもらった。

〔講師：米長邦雄日本将棋連盟会長〕

将棋の歴史を語って頂きました。
将棋の発祥はインドであり「チャ
トランガ」から現在の将棋になった。
4つの駒(車・馬・象・蛇)で始
まった。かつて400種類の将棋類
があったようだが現在は40種類ほ
どになっているようだ。

現代の将棋は「チャトランガ」か
ら分かれ、ヨーロッパでチェス、中
国で中国象棋、その他モンゴルなど
にも。

共通しているのはウマが端から2
番目に置かれていること。中国象棋
では馬(マ)、日本では桂馬、チェス

ではナイト。

日本に入ってきた時期は分からな
いが、大橋宗桂名人が生まれてから
398年になる。

戦国時代には信長・秀吉・家康・
前田利家・伊達正宗ら大名も指して
いたという。

駒も千利休の茶碗のように気高く
取り扱われていたようだ。

当時のルールでは二歩もありで指
しているところもあったようだ。大
橋家二代目「宗古」が二歩を禁じ
手を含めた現代のルールに統制した。
戦後マツカサー元帥から「将棋
はけしからん」と突然呼び出しがあ
り、当時GHQの建物に入って帰っ
てきた者はいないと噂があるなか、
連盟では誰に行ってもらうか喧々
と議論され、憎まれっ子であった升
田幸三氏が出向くことになった。

マツカサー元帥のところに行く
とGHQ民政局長ホイットニーが「将
棋は暗い、だから日本人のような侵
略者が生まれるのだ。将棋をやめて
チェスにしろなさい。」と。さらに将
棋は取った駒を使うゲームで捕虜を
虐待しているようなものだから非常
に危険である、などと難問を突きつ
けてきた。

ここで升田先生「私たちは取った
駒の身分を変えずに有効に用いてお
り、格下げしたり、奴隷扱いはして
いない。」そのほか王手飛車取りな
どを比喩に用いて難を逃れたという。
ホイットニーもこれだけ「ああ言
えばこう言う」と、間髪を入れず
返すのだから、その能力を用いるこ
とはできないものかと申し入れたそ
うだが、先生は「タダはいかん」と。
これで両者お笑いで終わり、缶ビ
ールとコンビーフをみやげに帰ってき
たとのこと。めでたしめでたし。

米長会長は、その他公益法人問題
に触れ、この件はのちほど・・・で
締め括られた。
〔報告：工藤学支部長〕

わ~い、賞品だ



^C^ 級位者v^1位大坂勇
一・2位石垣従道・3位松
尾嘉洋・4位石垣信彬

【マスコミ掲載情報】

月刊『将棋世界』1月号

223ページ
昇段コース卒
業者名

〔六段コース
卒業者〕
山下 弘人

後記

『将棋世界』の昇段コースを卒業して免状を頂戴したが、指しづいぶん心もとなく「世界一弱い六段」と自嘲。すると棋友が「そんなに弱くはない。まあ全道最弱六段が妥当な評価。」だってサ。(笑) (山下 弘人)